



医療連携だより [アシスト]

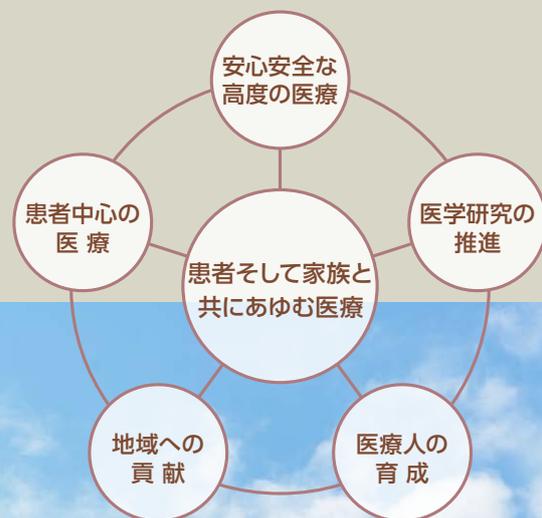
ASSIST

2022.6
No.55

帝京大学医学部附属病院

contents

- 教授就任のご挨拶 帝京大学医学部附属病院 救急科 教授 金子 一郎
教授就任のご挨拶 帝京大学医学部附属病院 外傷センター 教授 鈴木 卓
診療科長着任のご挨拶 帝京大学医学部附属病院 歯科口腔外科 准教授 大金 寛
診療科長就任のご挨拶 帝京大学医学部附属病院 総合診療科 病院教授 佐川 俊世



病院長ご挨拶

地域医療を支えていただいている先生方におかれましては、日頃より当院に多大なるご支援ご協力をいただいていることに、心より感謝申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症の流行が続き、顔の見える医療連携をテーマにした対面セミナー等が開催できず、地域で支える医療、二人主治医制を掲げる当院としては歯がゆい思いをしているところです。特定機能病院として新型コロナウイルス感染症と通常医療の両立が大きな課題となりますが地域の中で当院の役割をしっかりと果たして参ります。

地域への貢献を実現するため、ここで改めて当院の理念、基本方針をご紹介させていただければと思います。帝京大学医学部附属病院は特定機能病院として質の高い医療を提供するため、「患者そして家族と共にあゆむ医療」という理念のもと、職員全員が一丸となり「安心安全な高度医療の提供」「患者中心の医療」「地域への貢献」「医療人の養成」「医学研究の推進」という5つの基本方針で、患者の皆さま方をお迎えできるような病院作りに取り組んでおります。

今後も地域の医療機関、診療所の方々のご協力のもと「地域の皆さまに安心して頂ける高度で質の高い医療を提供する」という目標に向かって邁進して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



帝京大学医学部附属病院
病院長 坂本 哲也

教授就任のご挨拶

患者さんのアウトカム向上のための医療従事者トレーニングを実践するとともに
将来の医療を担う医学部生・医療系学生の教育に尽力いたします

帝京大学医学部附属病院 救急科 教授 金子 一郎

2022年4月1日付で救急医学講座教授に就任いたしました金子 一郎でございます。なにとぞよろしくお願いいたします。私は1996年に帝京大学に初めて赴任して以来、国立病院機構京都医療センターに赴任した時期を含め、26年間、帝京大病院あるいは帝京大学で勤務いたしておりました。専門は救急医学で、特に心肺蘇生法、蘇生後治療あるいは集中治療全般で現在も臨床実践に参加しております。高度救命救急センターでは、X線透視ユニットCTユニット等を完備したハイブリットERにて重傷外傷等の患者さんに対して高度な治療を迅速に行うことが可能になりました。この救急部門において私の主な役割は、卒前の医学部学生、医療系学生、さらに臨床研修医そして医療専門職の方々にトレーニング及び教育環境を提供することです。2013年、再度帝京大学に赴任して以来、医学教育研究センターのメンバーとしてシミュレーション教育研究センターのメンバーとして教育活動を続けて参りました。特にシミュレーション教育研究センターでは、コンピューターで制御さ

れた高機能シミュレーターを多く揃え、また評価機能付きタスクトレーナー、仮想患者シミュレーションソフトウェアなど最新の設備を活用し、シミュレーション基盤型教育を実施・研究しております。このシミュレーション教育研究センターでは、学生に対する蘇生トレーニング、救急処置トレーニング、臨床推論トレーニングまた医療超音波トレーニングシミュレーション等々を供給しています。合わせて卒後教育においては臨床研修医に対するトレーニング、さらに専門職の医師及び医療従事者に対して中心静脈カテーテル挿入のための講習会等トレーニングを実施いたしております。特に多職種連携の教育は重要であり、多職種連携として医師、看護師、薬剤師等が問題解決のためのチームを組んでトレーニングを行うIPPE (Inter Professional Education) を支援しています。

「すべては患者さんのために」この言葉のもと、患者さんのアウトカム向上のため、私たちは質の高い教育の充実を目指す。

指し、引き続き全力を尽くして参る所存です。



帝京大学医学部附属病院 救急科 教授
金子 一郎 (かねこ いちろう)

1987年3月 京都大学医学部卒業
1987年4月 京都大学医学部附属病院外科研修医
1988年4月 総合病院高山赤十字病院
1993年4月 京都大学医学部附属病院第2外科
1996年4月 帝京大学病院救命救急センター 助手
1998年4月 米国メリーランド大学病理へ出向リサーチフェロー
2000年1月 帝京大学病院救命救急センター 助手・講師
2008年4月 国立病院機構 京都医療センター診療部長
2013年4月 帝京大学医学部救急医学講座 准教授

2022年4月 帝京大学医学部救急医学講座 教授
帝京大学医学部医学教育センター 兼任
帝京大学シミュレーション教育研究センター (TSERC) 兼任

【専門分野】
救急医学: 蘇生、ショック
医学教育: 蘇生教育、シミュレーション医療教育

教授就任のご挨拶

帝京大学外傷センターが日本の外傷治療の最先端を担っていきます

帝京大学医学部附属病院 外傷センター 教授 鈴木卓

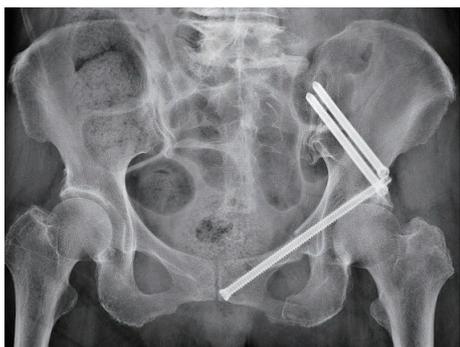
外傷センターという名前は聞き慣れないかも知れませんが、海外では一般的な組織名で、ケガの患者さんを集中的に治療しています。外傷というのは日常生活のあらゆる場面であらゆる人に生じうるものですが、これまで専門的に治療する医師や制度はほとんどありませんでした。当院では2009年5月に現在の新病院に移った当初から外傷センターが開設され、救急車で直接搬送される患者さんをはじめ、現在では近隣のクリニックの先生、一般市中病院の先生、あるいは関東近隣の救命救急センターからも多くの患者さんを紹介していただき、日夜診療にあたっています。外傷の中でも8割を占めると言われている運動器外傷がわれわれの得意分野であり、整形外科医を中心に頻度の高い骨折である四肢や関節周囲の骨折に対して多数の手術を行っています。また、開放骨折や脊椎・脊髄外傷、骨盤骨折など重症度の高い外傷の治療数はわが国でトップクラスです。難治骨折診といって、他施設で何度手術しても骨癒合しなかった患者さんも、全国から紹介していただき手術を行っています。

私はその中でも骨盤骨折や寛骨臼骨折といった技術的難易度の高い骨折の手術が専門であり、また、骨盤周囲の股関節、大腿骨近位部など、近年高齢者の増加とともに患者数が大幅に増加している低エネルギー外傷の診療と研究にも携わっています。他施設では全身状態が悪く治療困難であった患者さん、あるいは手術が技術的に難しく仕方なく安静加療を受けていた患者さんの生活の質の向上を目指して、低侵襲手術やナビゲーション使用手術など、大学病院ではないと出来ない治療にも取り組んでいます。

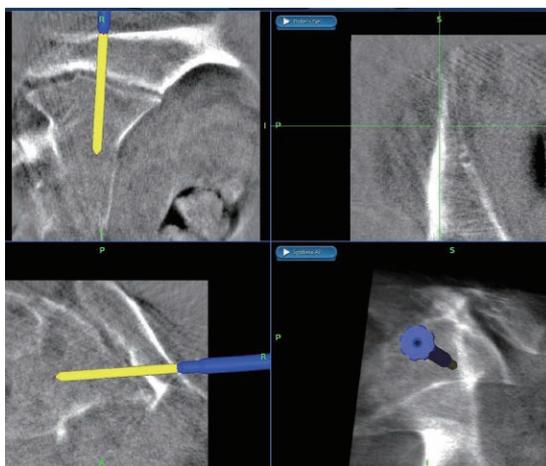
当院で治療を受けてよかったですと感じていただけるよう、スタッフ一同と共に頑張っていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



骨盤骨折の経皮的スクリュー挿入術(前)



骨盤骨折の経皮的スクリュー挿入術(後)



ナビゲーションシステムを用いた術中イメージ



帝京大学医学部附属病院 外傷センター 教授
鈴木卓 (すずき たかし)

1994年 名古屋大学医学部 卒業
1994年 愛知県公立陶生病院研修医
1997年 横浜市立大学付属市民総合医療センター
1999年 国立長野病院整形外科
2002年 北里大学病院救命救急センター 助手
2007年 Denver Health Medical Center 留学
2010年 北里大学病院救命救急センター 講師
2014年 帝京大学医学部附属病院外傷センター 准教授
2022年 帝京大学医学部附属病院外傷センター 教授

【専門分野】
四肢外傷、骨盤寛骨臼骨折、股関節疾患、四肢軟部組織感染症、救急医療

【所属学会(資格)】
日本整形外科学会(指導医)・日本骨折治療学会(評議員)・日本外傷学会(専門医、評議員)・日本救急医学会(専門医、指導医)・日本骨関節部感染症学会(評議員)

診療科長着任のご挨拶

地域の歯科口腔外科診療の中核病院として、更なる発展を目指し、地域医療に貢献してまいります

帝京大学医学部附属病院 歯科口腔外科 准教授 大金 覚

2022年4月1日より帝京大学医学部附属病院歯科口腔外科の診療科長に着任いたしました大金 覚（おおがね さとる）と申します。

当科は、歯科医院では治療が困難な親不知の抜歯、難治性口腔粘膜疾患、骨折などの外傷、顎骨病変、腫瘍性病変などの診断から治療までを専門性を持った医局員が高いレベルで診療に取り組んでいます。

その中で私の専門分野は、口腔がんの治療になります。

口腔領域は、食べる、話すといった生活を送るうえで重要な機能が集中しています。口腔がんは、放置しておくことそれらの機能が失われ生活へ多大な影響を及ぼします。そのため口腔がんの治療は、がんの治療に加え、治療後の生活への影響も十分に考慮しなければなりません。近年、がんの治療は進歩し患者さんの状態によって手術、放射線治療、化学療法などを適切に組み合わせて治療する集学的治療が基本となってきました。口腔がんの治療も例外ではありません。

早期の口腔がんであれば、手術により根治性も高く、食べる、話すなど生活への影響はほとんどありません。残念ながら進行



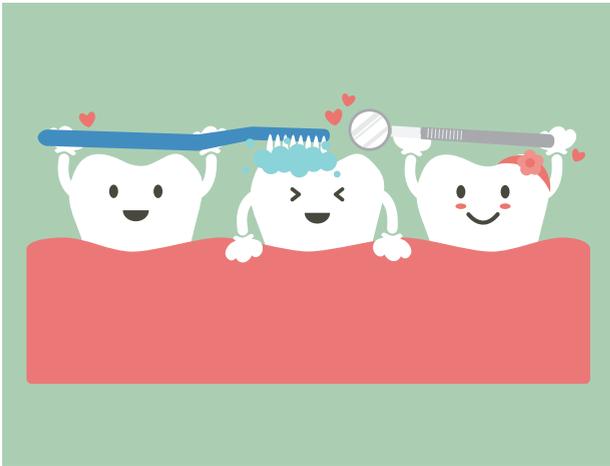
してしまうと大きく切除する必要が生じるため、形態や機能を回復させる再建手術が必要になります。また進行すると頸部のリンパ節への転移や他臓器への遠隔転移が生じ、放射線治療や化学療法など様々な治療の選択をしていくことになります。そのため口腔がんの治療には、多職種がチームを組んで患者さんとかかわり、治療や治療後の生活のサポートが必要となります。帝京大学医学部附属病院では、再建手術にかかせない形成外科、放射線治療部、腫瘍内科、緩和ケア内科、摂食嚥下チーム、患者支援センターなどすべてを兼ね備えており口腔がんの治療ならびに術前術後の患者さんの

サポート体制が整えられております。

口腔がんは進行が早く、患者さんの生活の質を守る最善の対策は、早期発見です。

皆さんにはこの機会に口腔がんに対する意識を高めていただき、今後は地域の医療連携をより深めていき、早期発見、早期治療に努め、最良の治療を提供できるように心がけていきます。

是非、当科へご相談・ご紹介いただけます様宜しくお願いいたします。



帝京大学医学部附属病院 歯科口腔外科 准教授
大金 覚（おおがね さとる）

- 2004年 3月 東京歯科大学卒業
- 2008年 3月 東京歯科大学大学院(口腔外科専攻)卒業
- 2008年 4月 亀田総合病院 歯科口腔外科 医員
- 2012年 4月 東京歯科大学口腔外科学講座 助教
- 2013年 12月 北京大学口腔医学院 臨床留学
- 2015年 4月 東京歯科大学口腔がんセンター 助教
- 2018年 10月 東京歯科大学口腔がんセンター 講師
- 2022年 3月 東京歯科大学口腔がんセンター 准教授
- 2022年 4月 帝京大学医学部附属病院 形成・口腔顎顔面外科学講座 准教授
歯科口腔外科 診療科長として着任

【所属学会・資格】
日本口腔外科学会
日本口腔外科専門医

新設

総合診療科

診療科長就任のご挨拶

総合診療科は地域医療のコンシェルジュとして皆様とともにより良い医療を目指します

帝京大学医学部附属病院 総合診療科 病院教授 佐川 俊世

2022年4月より総合診療科科長に就任いたしました佐川俊世と申します。

2009年に新病院になった際に救急医学講座の一員として新たに設立されたERセンターでセンター長として救急医療の最前線

線で時間、年齢、疾患を問わず、来院した患者さんを可能な限り診察する体制で年間約6000台の救急車を含め初期医療に従事してきました。2019年全世界的に社会的変化・変容をもたらした新型コロナウイルス感染症は医療においても大きな影響をもたらしています。

総合診療ERセンターにおいても、発熱外来を含め診療体制の見直しや各科と協力し帝京大学として地域の救急医療を崩壊させないためいろいろ取り組みをしてきました。

過去を振り返ってみますと2009年の設立当初に新型インフルエンザのパンデミックの際にも発熱患者さんの診察場所や動線について各該当部署の方々と協議したことが思い出されます。幸い今回のようなパンデミックにならずに落ち着きました

が、新型コロナウイルス感染症は未だに先が見えない状況ですが、帝京大学病院は全科の医師、看護師、薬剤師、医療事務を含めた医療従事者全員がコロナ禍の中で受診者の医療に力を合わせて頑張っているのが最前線にいるとよくわかります。私は今年

度、4月より約13年間所属していた総合診療ERセンター（救急医学講座）から独立し、新たに設立した総合診療科の科長として就任いたしました。

総合診療科は2018年度から開始された新専門医制度で新たな基本診療科に位置づけられた科として皆様もご存じだと思います。

それでは総合診療科とはどういう診療科でしょうか？ 日本専門医機構では総合診療専門医コースに6つのコアコンピテンシーを挙げています。1. 人間中心の医療・ケア 2. 包括的統合アプローチ 3. 連携重視のマネジメント 4. 地域志向アプローチ 5. 公益に資する職業規範 6. 診療の場の多様性です。

今までもプライマリ・ケア医、在宅医療医、家庭医療医、病院総合医、内科専門総合医、開業医の方々が担っていた分野と重複する部分も多いので総合診療科（医）に対する考えが人によって違うのはまだ仕方ないことだと思います。

帝京大学の総合診療科は2つの柱を掲げています。1つは教育で総合診療医の育成です。2つ目は臨床の充実です。初年度の2022年は総合診療医育成のために医学部4、5年生の地域実習を含め総合診療科として充実した教育体制の見直しに着手しています。学生を受け入れて

いただく地域医療機関の皆様方には大変お世話になりこの場を借りて御礼申し上げます。

4月より毎週月曜日に総合診療科外来を開始しました。地域の医療機関の先生方で「診断がつかない身体症状でお困りの患者さん」や「どの科を受診したらよいかわからない」また、「いくつもの医学的問題のためこれからどうしてよいかわからない」ということがあればどうぞ医療連携室に連絡をしていただき外来予約をお願いします。現在、入院患者さんを受け持っていないため入院加療が必要であれば主要な問題に対応する診療科での入院となります。総合診療科の大事な能力の一つはコミュニケーション能力だと考えます。对患者さんはもちろんのこと多職種の方々、家族に対してのコミュニケーションも大変重要です。最後に帝京大学の総合診療科は当大学を支えている

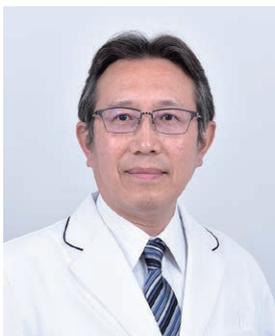
ただいいる各地域医療機関のよきコンシェルジュでありたいと思います。そのためには医療全般の専門的知識と高いコミュニケーション能力が必要です。総合診療医育成の教育と総合診療科の充実のため活動していきますのでどうぞよろしくお願いします。

帝京大学医学部附属病院 総合診療科 病院教授 佐川 俊世

1988年3月 帝京大学医学部卒業
1988年4月 帝京大学医学部附属病院第1内科 勤務
1997年5月 米国ノースウエスタン大学留学
1999年4月 帝京大学医学部附属病院内科助手
2006年4月 帝京大学医学部附属病院循環器内科講師
2009年5月 帝京大学医学部附属病院救急科 病院准教授、ERセンター長
2014年6月 帝京大学医学部附属病院救急科 病院教授、総合診療ERセンター長
2022年4月 帝京大学医学部附属病院 総合診療科 科長

【専門分野】
内科学
循環器内科学
救急医学
総合診療

【所属学会・資格】
日本内科学会
日本循環器学会
日本不整脈心電学会
日本高血圧学会
日本公衆衛生学会
日本救急医学会
総合内科専門医
循環器専門医
総合診療専門研修 特任指導医



帝京大学医学部附属病院 総合診療科 病院教授 佐川 俊世 (さがわ としお)

1988年3月 帝京大学医学部卒業
1988年4月 帝京大学医学部附属病院第1内科 勤務
1997年5月 米国ノースウエスタン大学留学
1999年4月 帝京大学医学部附属病院内科助手
2006年4月 帝京大学医学部附属病院循環器内科講師
2009年5月 帝京大学医学部附属病院救急科 病院准教授、ERセンター長
2014年6月 帝京大学医学部附属病院救急科 病院教授、総合診療ERセンター長
2022年4月 帝京大学医学部附属病院 総合診療科 科長

【専門分野】
内科学
循環器内科学
救急医学
総合診療

【所属学会・資格】
日本内科学会
日本循環器学会
日本不整脈心電学会
日本高血圧学会
日本公衆衛生学会
日本救急医学会

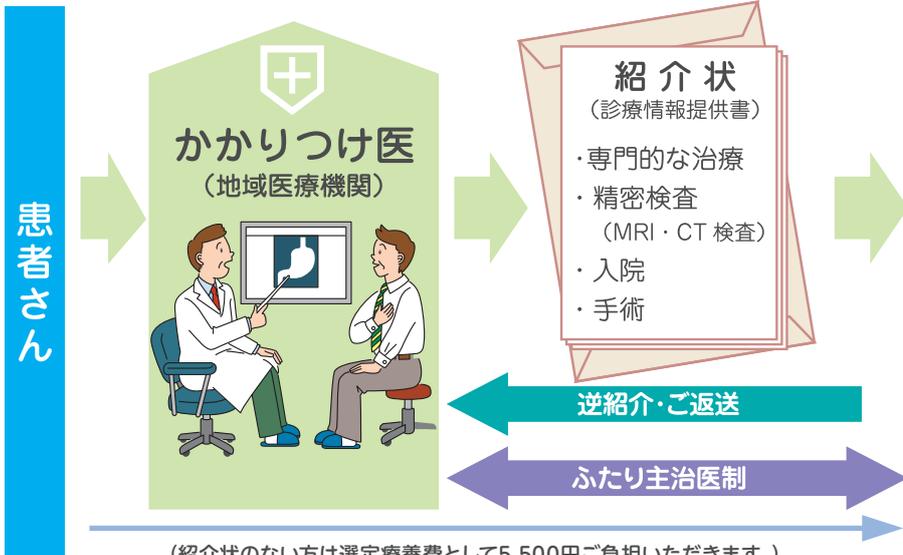
総合内科専門医
循環器専門医
総合診療専門研修 特任指導医

帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約*ができます。

※事前にお電話下さい

医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



(紹介状のない方は選定療養費として5,500円ご負担いただけます。)

帝京大学医学部附属病院
予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付時間
平日 8:30~17:00
土曜日 8:30~12:30

初診受付

診療受付時間
平日 (予約あり) 8:30~14:30
(予約なし) 8:30~11:30
13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。
電話予約の際にご確認させていただく項目
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎初診受付【診療受付時間】
平日 8:30~11:30/13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30
直接初診受付へお越しください。
※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- 1 JR埼京線 十条駅
 - 北口より徒歩約10分
 - 北口ロータリータクシー乗り場より約6分
- 2 都営三田線 板橋本町駅
 - A1出口より徒歩約13分
 - A1出口より約6分
- 3 JR埼京線 板橋駅
 - 西口①番のりばより
帝京大学病院経由、王子駅行き 乗522 (約8分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
西口より約9分
- 4 JR各線 赤羽駅
 - 東口⑤番のりばより
高円寺駅北口行き 乗31 (約11分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 西口⑥番のりばより王子駅行き 乗50 (約14分)
 - 「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分
 - 西口より約12分
- 5 JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅
 - 北口⑥番のりばより
帝京大学病院経由、板橋駅行き 乗522 (約12分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
北口より約9分
- 6 JR各線・東京メトロ各線 池袋駅
 - 西口より約16分
- 7 東武東上線 上板橋駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約13分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
- 8 東武東上線 ときわ台駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約9分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 北口より約12分

帝京大学医師会からのお知らせ

【産業医研修会について】

帝京大学医師会では、日本医師会認定産業医のための産業医研修会を毎年開催しております。帝京大学医学部附属病院で研修を受けながら、認定に必要な50単位を1年間で全て取得することが容易となりますので、是非ご参加ください。開催日程等の詳細は帝京大学医師会ホームページをご覧ください。

帝京大学医師会ホームページ

URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/ishikai/workshop/>

▼詳細はこちら



※所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

① タクシーをご利用の場合 ② バスをご利用の場合 ③ 徒歩の場合